



ロクマックス[®]

本製品をお買い上げ頂きありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書、施工要領書、国土交通大臣認定書をよくお読みのうえ、現場の状況に合わせて正しく施工してください。

取扱説明書

壁用キット

〈品番一覧・キット内容〉はじめに、ご購入された製品が下記のとおり付属しているかご確認ください。

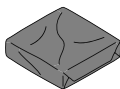
品番	開口面積 (m ²)	標準開口寸法 (mm)	ブロック (個)					⑥ 補助充てん材 (枚)	⑦ 取扱説明書 (枚)	⑧ 工法表示ラベル (枚)
			① SS	② S	③ M	④ L	⑤ LL			
RXB006	~0.06	300×200	4	5	4	3	—	2	1	1
RXB008	0.06~0.08	400×200	4	6	7	2	1			
RXB010	0.08~0.10	500×200	6	6	6	3	2			
RXB012	0.10~0.12	600×200	6	7	6	5	2			
RXB014	0.12~0.14	700×200	6	8	7	5	3			
RXB016	0.14~0.16	800×200	8	8	8	5	4	3		
RXB018	0.16~0.18	900×200	8	11	8	5	5			
RXB020	0.18~0.20	1000×200	10	11	10	6	5			
RXB022	0.20~0.22	1100×200	10	12	11	6	6			
RXB024	0.22~0.24	1200×200	10	13	11	8	6			
RXB026	0.24~0.26	1300×200	10	12	13	8	7			

①



ブロック (SS)
50×100×25

②



ブロック (S)
100×100×25

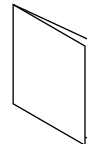
③



ブロック (M)
100×100×50

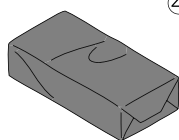
(単位：mm)

⑦



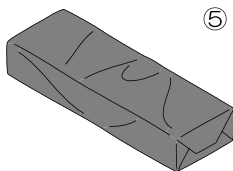
取扱説明書

④



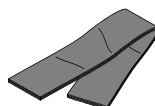
ブロック (L)
200×100×50

⑤



ブロック (LL)
300×100×50

⑥



補助充てん材
(熱膨張シート入り)
70×300

⑧



工法表示ラベル

現場の施工条件により以下の部材が必要になります。

別売品	
製品名 (品番)	適用条件*
ロクマックスZ金具 (RXZ) ロクマックスC金具 (RXC) ロクマックスボード (RXIT)	・床の開口部
ロクマックスマット (RXMT-M等)	・空調衛生設備配管
ロクマックスシート (RXST130)	・導体サイズ 200mm ² 超~1600mm ² 以下の電線、ケーブル ・PF、CD管 (呼び 28~54) ・FEP管 ・鋼製電線管の端部 ・金属製可とう電線管の端部、胴体部

* 適用条件・施工方法の詳細は、施工要領書や各製品に付属している取扱説明書をお読みください。

施工手順：壁工法

※ 国土交通大臣認定条件を必ずご確認くださいのうえ、施工してください

① 開口部、貫通部の確認

- 開口部の大きさ、壁の構造・厚さ、貫通物の種類・サイズ・占積率などが認定範囲に適合しているか確認します。
(詳細は、施工要領書および認定書をご確認ください。)

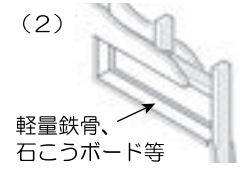
② 開口部の状況に合わせた準備

- 中空壁の場合はあらかじめ前準備をしてください。
 - (1) 鋼製枠の取り付け
 - (2) 壁材と同等の材料の枠を取り付け
(軽量鉄骨、石こうボード等)

(1)



(2)

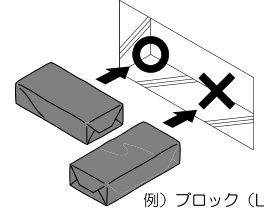
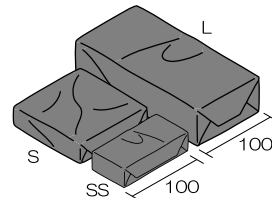


軽量鉄骨、
石こうボード等

③ ブロックの充てん方向の確認

- ブロックには充てん方向があります。
全てのサイズで同じ奥行き(100mm)になるよう注意してください。

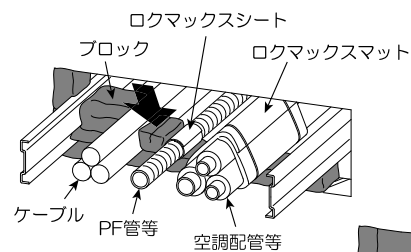
⚠ 誤った向きに詰めると、耐火性能が発揮されません。



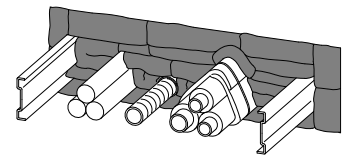
例) ブロック (L) の場合

④ ブロックの充てん

- 詰めるスペースに合わせてブロックのサイズを選び、開口部の端から順に充てんします。
- 詰めたブロックは、手で開口の端に寄せながら次のブロックを詰めていきます。
- ケーブルの谷間等にはブロックを押し縮めるなどして、できるだけ隙間なく詰めてください。
- 全体を詰め終えたらブロックを軽く引っ張り、簡単に抜けないか確認してください。
- ブロックが不足する場合は別売のロクマックスブロック (RXB-SS 等) をご使用ください。



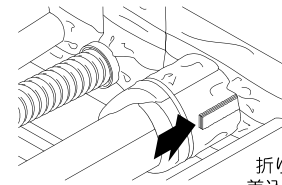
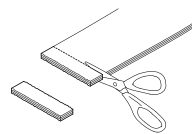
ロクマックスシート、
ロクマックスマットを使用
する際には、製品付属の
取扱説明書に従って施工して
ください。
(ブロック充てん前作業)



⑤ 補助充てん材の充てん

- 補助充てん材は、以下のようなブロックが入らない小さな隙間に差し込んでください。
 - (1) 並んだケーブルやPF管などの谷間
 - (2) ケーブルラックの親桁周辺
 - (3) ブロック同士の間など
- 補助充てん材が不足する場合は別売のロクマックス 補助充てん材 (RXBJ) をご使用ください。

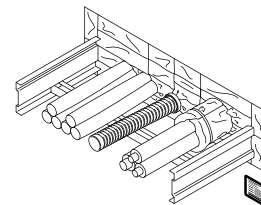
隙間に合わせて切断



折りたたむと隙間に
差込みやすくなります

⑥ 確認・工法表示ラベルの貼り付け

- 全体に隙間がないことを確認します。
- ブロックの詰まり方がゆるい場合には、ブロックを手で寄せて隙間を大きくし、余ったブロックを詰めてください。
- 工法表示ラベルは、確認しやすい位置に貼り付けてください。



工法表示ラベル
(貼り付け例)

標準施工図 (代表例)

※ 下記以外の施工図は、施工要領書でご確認ください。

鉄筋コンクリート壁	中空仕切壁	片壁
<p>※1 ※2</p>	<p>100mm超</p>	<p>42mm以上</p>
<p>60~100mm</p>	<p>42mm以上</p>	

※1 ロクマックスシート (RXST130) ※2 ロクマックスマット (RXMT-L 等)

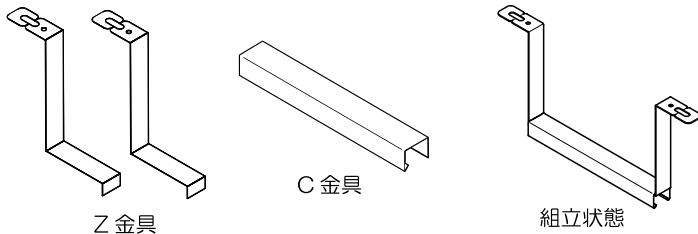
■ 床工法を施工する場合 ※ 床工法には本製品のほかに別売品（Z金具、C金具、ロクマックスボード）が必要です。

① 開口部、貫通部の確認

- 開口部の大きさ、床の構造・厚さ、貫通物の種類・サイズ・占積率などが認定範囲に適合しているか確認します。（詳細は、施工要領書および認定書をご確認ください。）

② Z金具・C金具（支持金具）の設置

- Z金具2本とC金具1本を組み合わせます。



- 開口部の状況に応じて、支持金具を設置してください。（右図（1）～（3）を参照）
- 支持金具の設置個数は、下記表が目安です。

支持金具の設置個数の目安

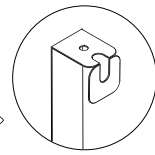
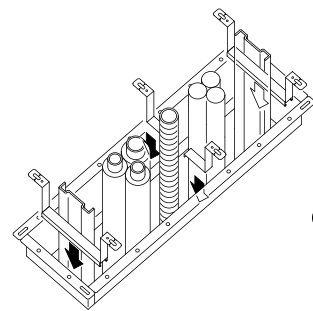
開口幅 (mm)	個数
400 以下	両端 2 組
400 ~ 800	両端 2 組、中間 1 組
800 ~ 1200	両端 2 組、中間 2 組
1200 ~ 1500	両端 2 組、中間 3 組



単心の電力ケーブルが貫通する場合、同一回線のケーブルの間に支持金具を設置しないでください。

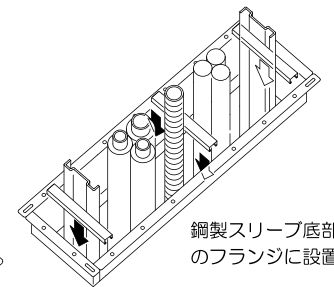
- Z金具のビス穴は、躯体や鋼製スリーブへの固定が必要なときに使用してください。

(1) 鋼製スリーブ上面施工



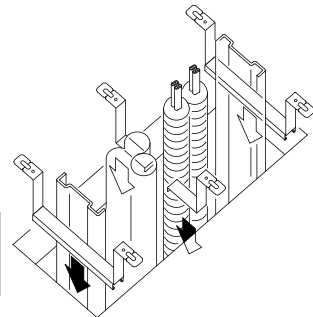
折り曲げて鋼製スリーブのふちに掛けることができます。

(2) 鋼製スリーブ下面施工



鋼製スリーブ底部のフランジに設置

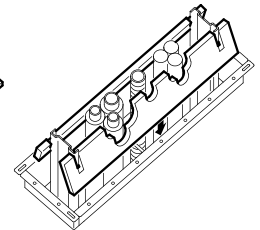
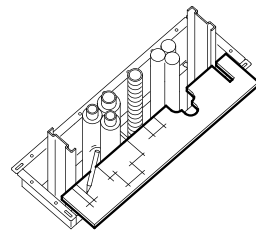
(3) 鋼製スリーブなし



③ ロクマックスボード（支持板）の加工・設置

- ケーブル等の配線状況やケーブルラックの形状に合わせてけがき、カッター等でカットしてください。
- 切りすぎた場合は、市販のアルミテープで補修してください。
- 加工した支持板は、支持金具の上しっかりと乗るように設置してください。

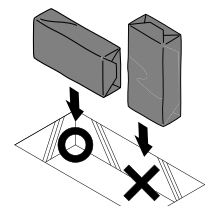
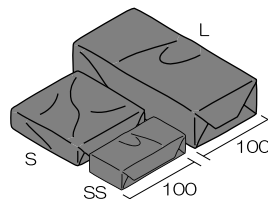
⚠ カッターご使用時は保護手袋などの保護具を着用してください。



④ ブロックの充てん方向の確認

- ブロックには充てん方向があります。全てのサイズで同じ奥行き（100mm）になるよう注意してください。

⚠ 誤った向きに詰めると、耐火性能が発揮されません。

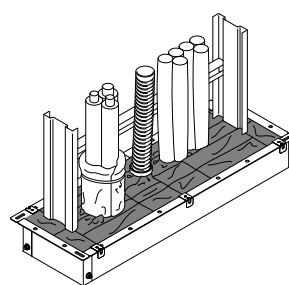


例) ブロック (L) の場合

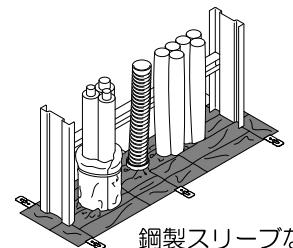
⑤ ブロックの充てん

- 詰めるスペースに合わせてブロックのサイズを選び、開口部の端から順に充てんします。
- 詰めたブロックは、手で開口の端に寄せながら次のブロックを詰めていきます。
- ケーブルの谷間等にはブロックを押し縮めるなどして、できるだけ隙間なく詰めてください。
- 全体を詰め終えたらブロックを軽く引っ張り、簡単に抜けないか確認してください。
- ブロックが不足する場合は別売のロクマックスブロック（RXB-SS等）をご使用ください。

ロクマックスシート、ロクマックスマットを使用する際には、製品付属の取扱説明書に従って施工してください。（ブロック充てん前作業）



鋼製スリーブ上面施工



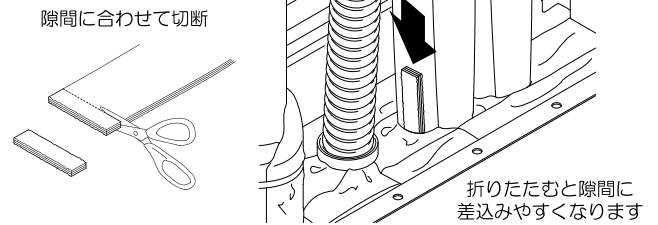
鋼製スリーブなし

⑥ 補助充てん材の充てん

● 補助充てん材は、以下のようなブロックが入らない小さな隙間に差し込んでください。

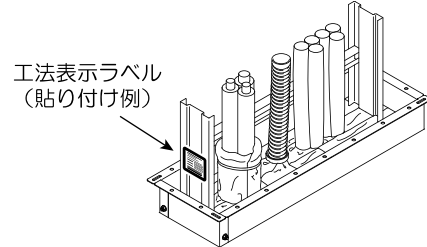
- (1) 並んだケーブルやPF管などの谷間
- (2) ケーブルラックの親桁周辺
- (3) ブロック同士の間など

● 補助充てん材が不足する場合は別売のロクマックス 補助充てん材 (RXBJ) をご使用ください。



⑦ 確認・工法表示ラベルの貼り付け

- 全体に隙間がないことを確認します。
- ブロックの詰まり方がゆるい場合には、ブロックを手で寄せて隙間を大きくし、余ったブロックを詰めてください。
- 工法表示ラベルは、確認しやすい位置に貼り付けてください。



標準施工図 (代表例)

※ 下記以外の施工図は、施工要領書でご確認ください。

鋼製スリーブ上面施工	鋼製スリーブ下面施工	鋼製スリーブなし

※1 ロクマックスマット (RXMT-L 等) ※2 ロクマックスシート (RXST130) ※3 専用の鋼製スリーブ (AS12020 等)

<p>警告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 防火措置部の上には乗らないでください。防火措置材が破損し、防火性能が損なわれる恐れがあります。 ● ロクマルの各部材は、併用・混在できません。
<p>注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 金具を取り扱う際には保護具を着用し、角部・端部 (エッジ部) に注意してください。ケガの恐れがあります。
<p>使用上の ご注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品は、一般屋内用です。屋外やそれに準じた環境下でのご使用はおやめください。 ● 防水性能はありません。 ● ケーブル、配管の支持機能はありません。別途支持してください。 ● 防火措置材は、隙間ができないようにいねいに施工してください。 ● 床または壁貫通部の周囲に可燃物を置かないでください。 ● 特殊な環境下で使用される場合は、事前に弊社または行政・確認検査機関にご相談ください。 ● 工法表示ラベルを紛失した場合は、弊社 H P にてご請求ください。
<p>ケーブル防災設備協議会会員：古河電気工業株式会社</p>	<p>技術事項のご相談・お問い合わせは 株式会社古河テクノマテリアル 防災事業部 TEL：0463-24-9341 FAX：0463-24-9346 URL：https://www.furukawa-ftm.com/</p>
<p>工法表示ラベルの発行に関しては、 古河電気工業株式会社の委託を受けております。</p>	